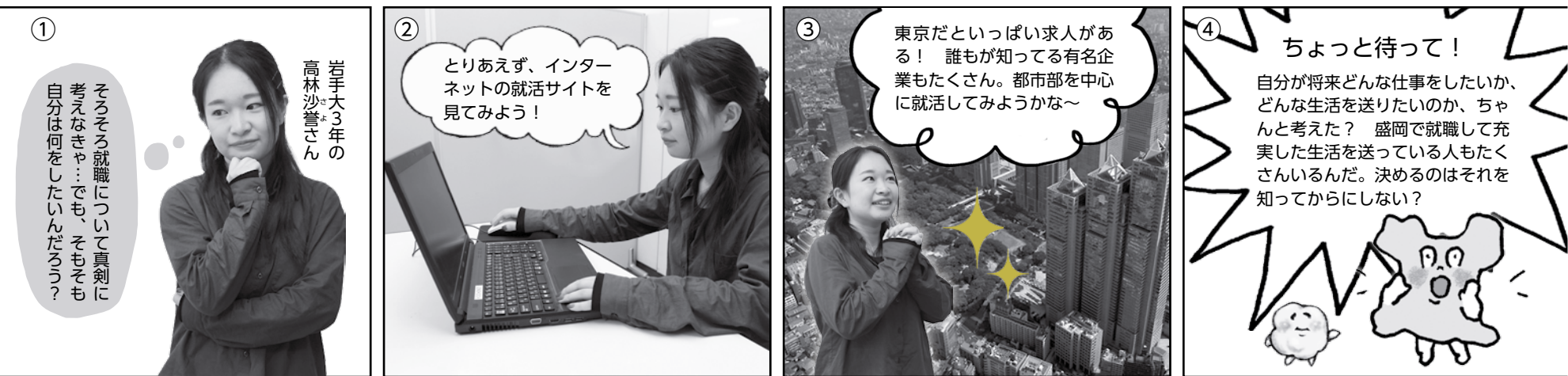


シゴトの魅力、未来のジブン。

「盛岡にはやりたい仕事がない」「行きたい就職先がない」。そんな風に思い込んでいませんか。盛岡にも、仕事に誇りを持ち、やりがいを持って生き生きと働く人たちがたくさんいます。県都としての都市機能や豊かな自然環境を生かした盛岡でしかできない仕事もあります。本号では、盛岡で働く魅力について紹介。きっと新たな発見があるはず――。



盛岡で働く魅力を知ろう！



先輩ワーカーに聞く

盛岡での働き方、教えてください！

case 1



(株)工藤材木店
吉岡 金吾さん (24)

- ある1日のスケジュール
- 6:45 起床
 - 7:30 出社
受注・発注整理などの事務処理の後、営業・外回り
 - 12:00 ランチ
愛妻弁当を食べます
 - 13:00 午後の勤務
 - 20:00 帰宅&夕食
米養士の妻が作る米養満点の夕食
 - 21:00 夫婦でゆっくりDVD鑑賞
最近見た映画は「バック・トゥー・ザ・フューチャー」
 - 24:00 就寝

盛岡の高校で商業を学びました。初めはインテリアデザインの仕事を志しましたが、インテリアを形作っている資材自体に興味湧き、今の会社に就職。現在は、主に地元工務店や大工を対象に建築資材の営業をしています。材木にも多くの種類があるので毎日が勉強。一度の訪問では商談は戻りませんが、何度も先方へ通って説明することで熱意や誠意が伝わり「ぜひあなたの所から買いたい」と言ってもらえた時は、大きな喜びと小さいことの積み重ねの大切さを感じます。週末は盛岡の社会人野球チームで汗を流し、公私共に充実しています。将来の夢は、仕事を通じて地元の活性化に貢献すること。地元資材屋の資材で地元工務店が建てた家に地域の人々が住む。そういった一つのつながりの輪の中で、地元を盛り上げていけるような存在になりたいです。

お気に入りの風景 ▶▶▶ 冬朝一番の安比高原の頂上からの眺め

case 2



盛岡ターミナルビル(株)
村上 恵美さん (32)

- ある1日のスケジュール
- 6:00 起床
 - 8:00 出社
始業前の時間を有効活用してメールや業界紙のチェック
 - 12:00 ランチ
眠くならないよう食べ過ぎない
 - 13:00 午後の勤務
 - 18:30 帰宅
 - 19:30 夕食&お楽しみ
録画した朝ドラを見るのが日課。明日へのリズムを整えながら、パワーを蓄えます
 - 24:00 就寝

県内の大学を卒業後、東京都内の商業施設運営会社に勤めていました。東日本大震災があって、高校まで暮らした陸前高田市に住む両親たちの近くで働きたいという思いを強めましたが、前職にもやりがいを感じていたため、そのキャリアを生かせる仕事が見つかるのを待ちUターン。盛岡で働き始めて1年半が過ぎました。現在は「フェザン」で企画・開発を担当し、愛される駅ビルづくりのため毎日充実した生活を送っています。都内では片道1時間、満員電車で揺られての通勤でしたが、盛岡ではそれもなく、時間を有効活用できる生活を得たのは大きな収穫。今任されているのは来春に向けての一大プロジェクト。駅ビルと地域がつながる意義を考えつつ仕事を進める中で、盛岡など地元について初めて知ることも多く、自分の成長も感じられて、仕事が楽しいです。

お気に入りの風景 ▶▶▶ 県立大キャンパスから見る岩手山

case 3



農業
山本 早苗さん (31)

- ある1日のスケジュール
- 6:00 起床
 - 7:00 畑作業
野菜の剪定や収穫、出荷作業など
 - 12:00 家に戻って昼食作り
最近は秋ナス料理をよく作ります
 - 13:30 畑作業再開
 - 15:00 家に戻って事務作業
米のラベル作成や発送作業など
 - 17:00 お風呂
 - 19:00 夕飯
 - 20:00 主人とまったり
2人でテレビゲームやお笑い番組を見ることにハマってます
 - 22:00 就寝

結婚を期に主人の実家がある玉山地域へ引っ越し、農業を継ぐことになりました。初めての田植えが楽し過ぎてすぐに夢中に。玉山の人の温かさや美しい自然にも魅了され、「この生活は自分に合ってる」と実感。以前より健康で肌もきれいになったんですよ。今は、玉山地域特産の黒豆「雁喰豆」のおいしさを若い人たちにもアピールするため、豆を使ったデザートや地ビールの開発・普及に取り組んでいます。命の糧である食物を作る農業はとても尊い仕事。農家の人々には自信や誇りを持ってもらいたいです。また、消費者の皆さんに食物を作る過程を知ってもらう機会をもっと作っていききたいです。地域で作られたものを地域で食べられるレストランを作ることが将来の夢。玉山の魅力を高めることは、盛岡の新しい魅力にもつながると思います。

お気に入りの場所 ▶▶▶ 下田字紫沢周辺。岩手山と姫神山を望めます

case 4



巴染工(株)
長谷川 剛さん (26)

- ある1日のスケジュール
- 6:00 起床
 - 8:00 出社
朝礼で1日の流れを会社全体で共有。電話や訪問などで打ち合わせ
 - 12:00 ランチ
奥さんの作ったお弁当を食べます
 - 13:00 午後の勤務
受注や見積作成、工場への指示、商品の納品など
 - 18:30 帰宅
 - 20:00 妻と晩酌
夫婦でお酒が大好き。「菊の司」と「あさ開」は良く飲みます
 - 24:00 就寝

八戸市出身で、盛岡の専門学校でデザインを学びました。伝統的な染め物の仕事に興味を持ち、同社へ入社。現在は営業の仕事を担当していて、お客さんからの注文を希望どおりの形にできるよう、工場の職人へ細かく伝えます。完成品を見て喜びお客さんの笑顔が何よりのやりがいです。今年は、はんでんを注文してくれたお客さんに誘われて盛岡八幡宮の秋まつりに参加。そこで初めて、はんでんが長持ちする特有の着方や畳み方があり、大切に使用されていることを知り感動。使う側の気持ちを知ることができた貴重な体験でした。盛岡には伝統的な建物や文化などがたくさんあり、気さくで優しい人柄の人が多く。そういったものに常に触れて仕事ができることに大きな幸せを感じています。自分ももっと盛岡になじんで、会社と共に成長していきたいです。

お気に入りの場所 ▶▶▶ 中津川の河川敷。昼休みに時々散歩します

盛岡で働きたい！を応援する皆さんからアドバイス

問題意識を持って自ら動く

私が一緒に働きたいのは、質問する力がある人。問題意識を持ち、自分で考えることができる人は、企業研究をしっかりやるので、入社後に「こんなはずじゃなかった」と辞めることはほぼありません。盛岡には、成果や損得だけではなく「人情」のような深い部分を大切にしている企業が多いように感じます。私たち経営者も魅力ある企業づくりを目指していきますので、広い視点で就職活動をしてほしいです。自ら動き考えた分、見えてくるものがあるはずです。



(株)アート不動産
代表取締役社長
櫻井 大介さん

遠回りでもいろいろな経験を

大事なものは「こういう道を進みたい」という思いを自分の言葉で語れるようになること。そのためには、少しでも興味があることに首を突っ込んでみたり、楽しそうにして大人の話聞いてみたり、いろいろな経験をすることが必要。一見遠回りに見えても、それが理想の仕事・暮らしにつながっていくはずです。私は一度東京で就職しましたが、地に足が着いた暮らしをしたくて盛岡にUターン。岩手の食材を提供する事業を立ち上げ、自然と触れ合う暮らしに充実感を得ています。



旬秀吉
取締役営業企画部長
渡邊 里沙さん

自分の目・耳・足で情報収集を

まずは生き生きと働く自分の姿をイメージし、そうなるためにはどうしたらいいかを考えてみましょう。そして、できるだけ自分の目・耳・足で情報収集すること。今はインターネットで何でも調べることができますが、自分が経験して感じたことが何より信用できる情報です。また、自分の長所一つ一つでもいいから自覚し自信を持つことも大切。不安なことがあれば気軽にジョブカフェを利用してください。違う視点から意見を聞きたい、息抜きしたい、そんな理由でも大歓迎です。



ジョブカフェいわて
キャリア・カウンセラー
矢野 葉子さん

市の主な取り組み紹介

【広報ID：1016452、1008090、1008124】

若者や企業、起業を目指す人を支援

①もりおか就職ガイダンスの開催

来年3月14日に、平成30年3月卒業予定の大学生などを対象にした、盛岡広域圏の企業によるガイダンスを開催します。

【問】経済企画課 ☎613-8298

②若者に対する就職支援

「ジョブカフェいわて」にキャリアカウンセラーを配置。就職相談や面接のサポート、就職後のフォローアップなどによる若者の就職支援に協力しています。

【問】ジョブカフェいわて ☎621-1171

③進路に悩む若者に対する就職支援

若者の自立を支援する「もりおか若者サポートステーション」に支援員を配置。ボランティアや就業の体験機会の提供、臨床心理士によるカウンセリングの実

施など、進路に悩む若者の就職支援に協力しています。

【問】もりおか若者サポートステーション ☎625-8460

④企業の採用力の強化

盛岡広域圏の企業の採用力向上を図り、就職を目指す若者への訴求力を高めるため、企業向け研修プログラム「採用ブランディングキャンプ2016」を実施。大学生や企業に研修成果を発表するPRイベントを来年1月13日に市内、3月中旬に東京で開催します。

【問】経済企画課 ☎613-8298

⑤起業を目指す人への支援

起業に必要な考え方や心構え、事業の立ち上げまでの手順などを学ぶ全7回の講座を開催します。12月に受講者募集を開始し、来年1月中旬から開講の予定。また、市産業支援センターではいつでも、起業や創業に関する相談に応じています。

【問】ものづくり推進課 ☎626-7551

盛岡で働く魅力がこんなにあるなんて知らなかった！応援してくれる人たちがいて心強いな。私も、将来の仕事や生活について、もう一度ちゃんと考えよう

